

エレキギターを弾いてみよう 開放弦を弾いてみよう

ギター初心者、入門者の皆さんいらっしゃい。ここではギターに馴染むために一番簡単な音を出します。弦を左手で何も押さえない「開放弦」を鳴らしてみましょう。ピックで弦をはじく事を「ピッキング」と呼びます。また、指で弦をはじく事を「フィンガーピッキング」と呼びます。

ピックはありますか？

ピックにはさまざまなタイプがあります。何が違うかといえば、

材質の違い・・・金属、ナイロン、セルロイド、カーボン、べっ甲など

形(大きさ)の違い

オニギリ金属	涙型	小さい涙型	オニギリ型	トライアングル型
				



厚さ(硬さ)の違い・・・ソフト(やわらかい)

ミディアム(少しやわらかい)

ハード(硬い)、ヘヴィ(とても硬い)

色の違いなどです。

ピック選びでそんなに悩む人はいないと思いますが好きなアーティストやキャラクターのピックも売っています。

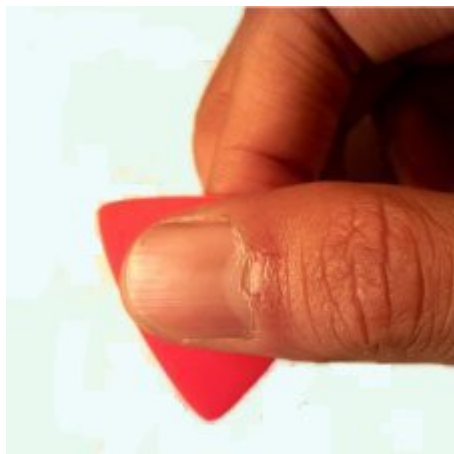
値段も安いですし、気に入ったものをいくつか買えば良いと思います。

ピックの硬さについてはミディアムかハードをおすすめしておきます。

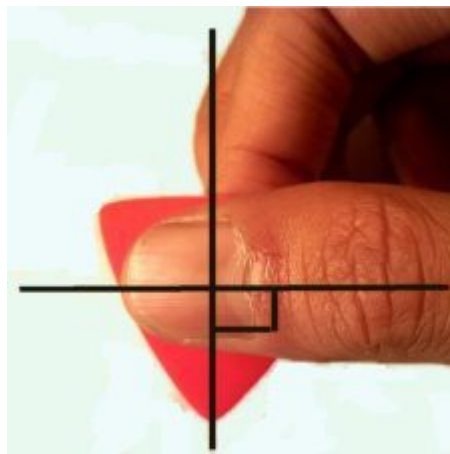
ピックの持ち方

一般的に「基本」とされているピックの持ち方です。ここではオニギリ型の持ち方ですが、その他の涙型やトライアングル型でも理屈は同じです。

オニギリ型ピックを持っています。



角度はこんな感じです。指とピックの先端が垂直です。



ピックで弦に当てる深さ

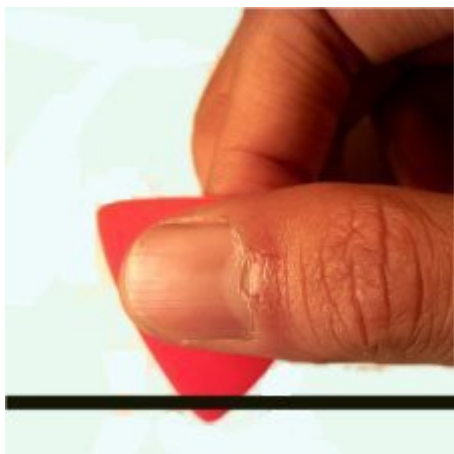
ピックを弦に当てる時、弦と平行に動かして弾きます。この時、ピックの深さが重要です。

浅く当てると、個人的に音はちょっとものたりない感じがしますが、動きが少なくて済むので速く弾けるようになります。

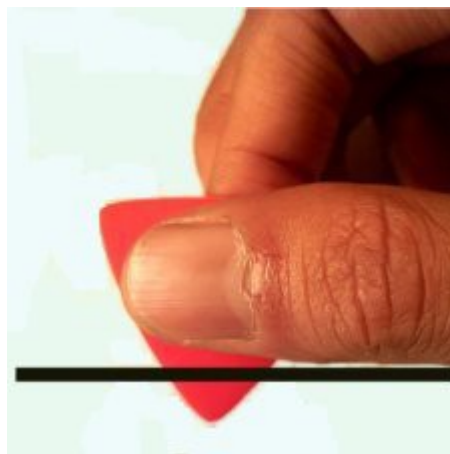
深く当てると、手の動きが大きくなり大変ですが、ゴリゴリした音を出すことができます。

そのうちどちらでもできるようになれるのが理想ですが、最初は「浅く」練習したほうが良いでしょう。

浅く弦にピックを当てる場合



深く弦にピックを当てる場合



開放弦(弦を何もおさえない)を鳴らしてみよう

Music notation for the first exercise, labeled "Gtr I". It shows a treble clef staff with a 4/4 time signature. The melody consists of four measures: a whole note G4, a half note A4, a quarter note B4, and a quarter note C5. Below the staff, the guitar strings (T, A, B) are indicated with circles representing fretted notes: T has a circle on the 1st fret, A has a circle on the 2nd fret, and B has a circle on the 3rd fret. A dashed line indicates the fretted notes continue across the measures.

Music notation for the second exercise. It shows a treble clef staff with a 4/4 time signature. The melody consists of four measures: a whole note G4, a half note A4, a quarter note B4, and a quarter note C5. Below the staff, the guitar strings (T, A, B) are indicated with circles representing fretted notes: T has a circle on the 1st fret, A has a circle on the 2nd fret, and B has a circle on the 3rd fret. A dashed line indicates the fretted notes continue across the measures.

譜例のピッキング表記は、前半はダウンピッキングのみ、後半はダウン、アップ交互の弾き方で表示しています。次の①～③も試しに挑戦してみてください。

① 上のTAB譜を全て**ダウンピッキング**だけで弾いてみましょう。

どうでしたか？前半はなんとか弾けても、後半の音が連続する部分は少しキツイですね。

② 上のTAB譜を全て**アップピッキング**だけで弾いてみましょう

どうでしたか？アップピッキングだけで弾くのはダウンピッキングだけより難しいです。

③ 次は1音ごとに**アップピッキング、ダウンピッキング**で弾いてみましょう。この上下で必ず弾く方法が一番合理的です。

特に後半の部分で、ダウンだけだとスピードについていけないものが、この方法だと少し楽に感じたはずですよ。

この方法が身に付いたら、少々テンポが速くなっても弾くことができるようになります。**オルタネイト**なんていわれています。

弾きたいフレーズによってアップピッキングとダウンピッキングを使い分けできるようになるまではできるだけこの上下を交互に弾く方法で練習したほうが良いです。

※「開放弦」を鳴らすときに大事な必要ない音を鳴らさないこと。頑張りましょう。

エレキギターで弾く ドレミファソラシド

ギターの教則本などでだいたい出てくるのがおなじみの「ドレミファソラシド」です。

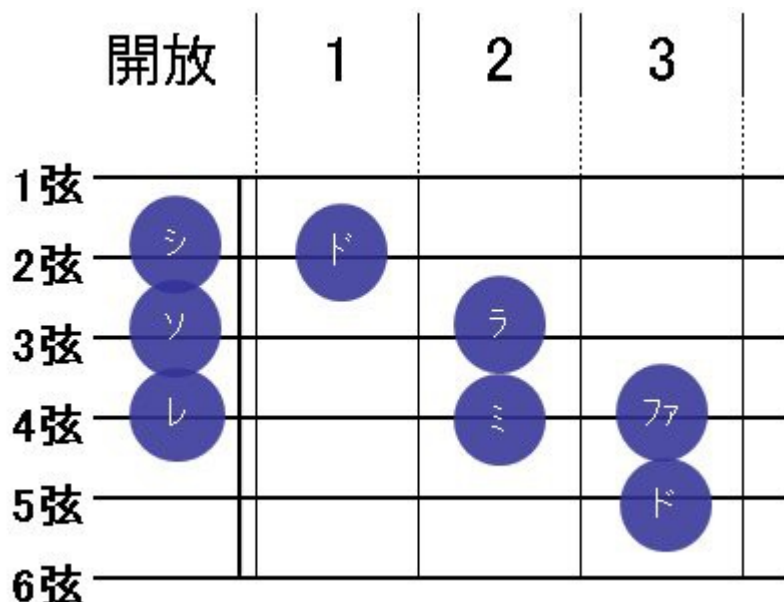
これを覚えたら、小学生の時に習った童謡などをなんとなく弾くことができるようになります。

初めてだと指は思うように動かないでしょうが弾き続けると、そのうちにできるようになります。

ギターを弾けるようになるまで残念ながら近道はありません。

繰り返して、楽しんで弾くことが大切です。メトロノーム等を使ってあせらず、のんびりと練習しましょう。

ドレミファソラシド 押さえる場所(ポジション)



<指の使い方>

開放弦(何もおさえない)～3フレット目までを使用しますが、

次のような指使いで練習しましょう。

開放弦…他の音が出ないように、いらない音は指を軽く弦に当てて消して下さい。
(これはミュートといいます)

1フレット目…人差し指が担当
(下のTAB譜例で「1」の数字すべて)

2フレット目…中指が担当
(下のTAB譜例で「2」の数字すべて)

3フレット目…薬指が担当
(下のTAB譜例で「3」の数字すべて)

ドレミファソラシドをTAB譜(タブ譜)で表現するとこんな感じになります。

ド レ ミ ファ ソ ラ シ ド

T 0 1

A 0 2

B 3

ドレミファソラシド 指の使い方

ドレミファソラシドの指の使い方を覚えましょう。

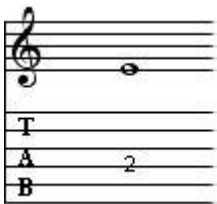
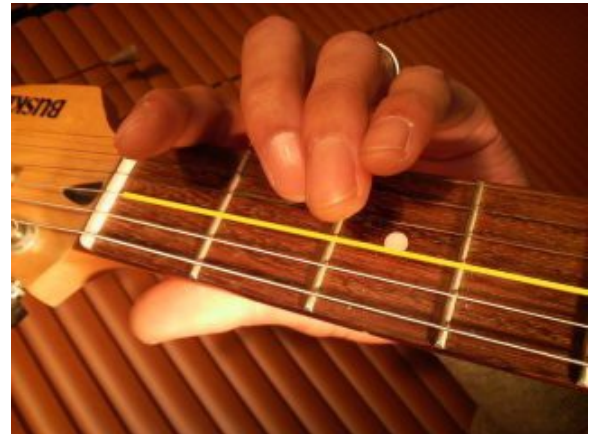
右の写真で 太い線は(弾いている弦)、赤色部分は(押さえている部分)です。



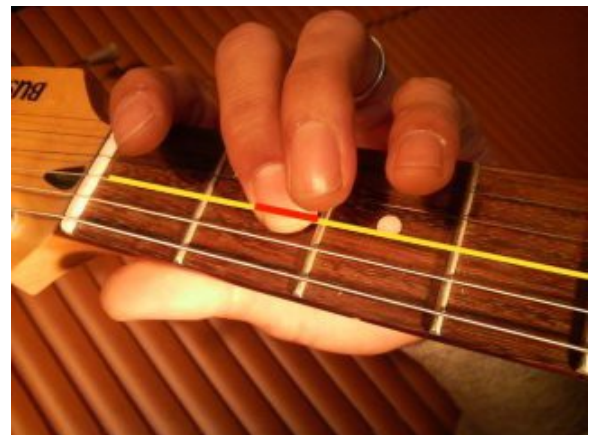
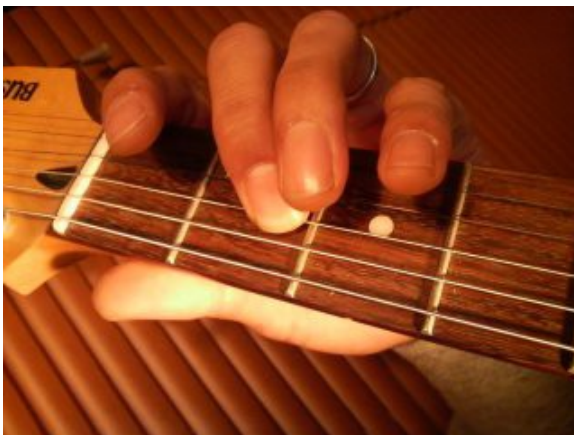
ド

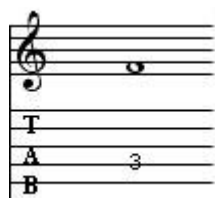


レ

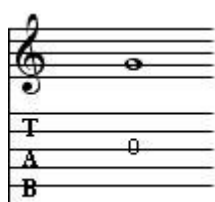
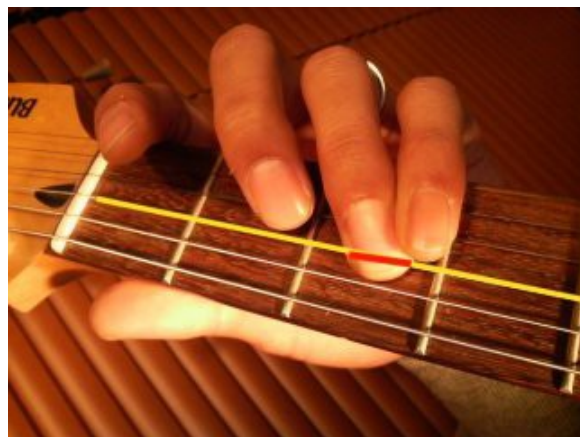
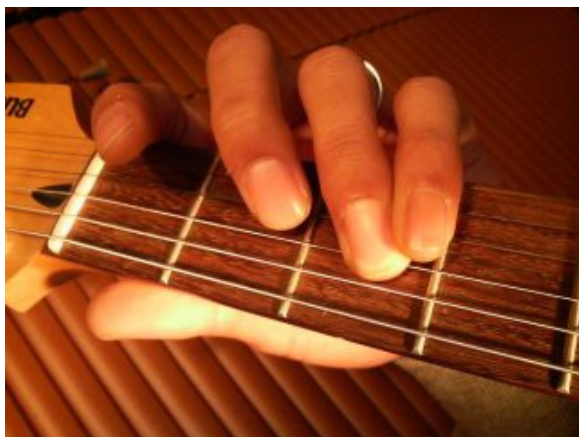


ファ





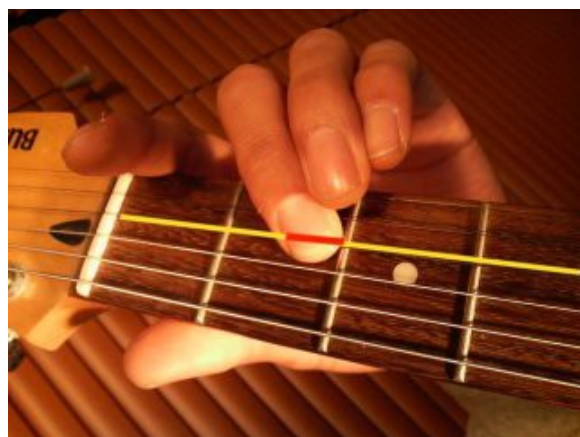
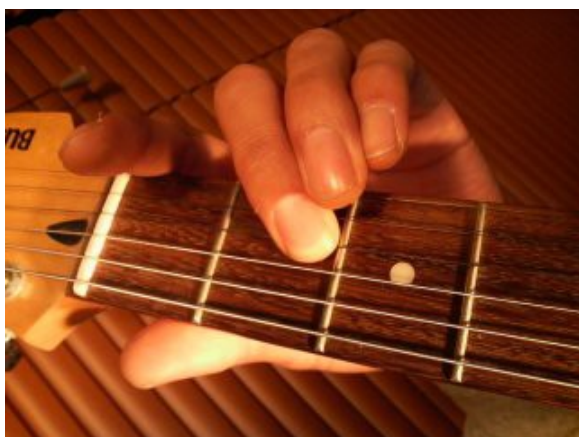
ファ

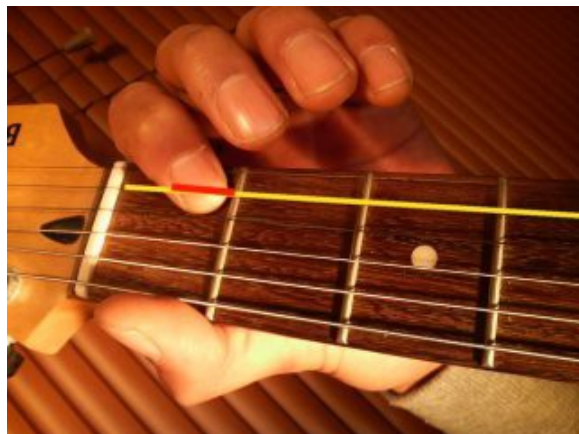


ソ



ラ





エレキギターで弾く ドレミファソラシド

1

Gtr I

T
A
B

3 0 2 3 0 2 0 1 1 0 2 0 3 2 0 3

2

T
A
B

3 3 0 0 2 2 3 3 0 0 2 2 0 0 1 1 1 1 0 0 2 2 0 0 3 3 2 2 0 0 3 3